

～インドネシアの古都ジョグジャカルタ便り～

日本語パートナーズのインドネシア 7期としてインドネシアの古都ジョグジャカルタに着任して、あっという間に3ヶ月が経過しました。

ジョグジャカルタは、インドネシアを代表する観光地として知られており、中心部の王宮や、世界遺産であるボロブドゥール、ブランバナナ寺院群などを見ることができます。また、ジャワの伝統芸能であるワヤン・クリッ（影絵人形芝居）やラーマヤナ舞踊などの公演が毎日のようにあります。先日も、タイミングよく王宮での本格的なジャワ舞踊の特別公演を鑑賞することができ成熟したジャワの伝統文化を堪能しました。



世界遺産ボロブドゥール



ラーマヤナ舞踊 ブランバナナ寺院にて

インドネシアの教育制度は、日本と同じように9年間の義務教育があります。その後、高校や専門学校、大学などの高等教育機関に進学します。小学校から高校まで、全ての段階で毎年4月に進級・卒業のための統一国家試験を受けなければならない、点数が基準に達していないと進級・卒業をすることができません。

私の派遣先校は、ジョグジャカルタのほぼ中心に位置するボプクリ第一高等学校です。イスラム教徒が人口の87%を占めるインドネシアですが、この学校はキリスト教系の私立学校です。全校生徒は約700名で、そのうち日本語履修者数は315名です。

ボプクリ第一高等学校はジョグジャカルタでも古い学校で、創立70年を超えます。時代の変化や要求に応じた品質教育を目指しているようで、学生の知識を深めるとともに、スポーツ、芸術、文化等への教育にも力を入れており、国内および国際社会で活躍できる人材を育てることを重視しています。生徒のほとんどは卒業後にインドネシア各地の大学や海外の大学に進学しており、日本への留学を希望する生徒もいます。生徒も明るくのびの

びと学生生活を楽しんでいるようで、私が廊下を歩いていると「せんせーこんにちは」などと声をかけてくれます。

高校の特徴的な科目として、地域の文化を学ぶ授業があります。地域の言葉であるジャワ語、ジャワ更紗として日本でも知られているバティック（インドネシアの伝統手工芸でろうけつ染めの布のこと）や、ジャワ舞踊の授業が実施されています。

日本語教育は、2010年より開始。現在、日本語の先生は1名で、ベテランのサント先生が一人で受け持っています。私は、月曜から金曜まで計28コマの授業に入っています。全年12クラスで日本語授業のサポートや文化紹介を行っています。生徒の中には、日本にホームステイ経験を持つ生徒もいれば、アニメを通して日本に興味を持つ生徒もいます。

しかし、ほとんどの生徒は日本語を難しいと感じているようです。そのような生徒達にも、日本を、日本語を身近に感じてもらうため、ゲームやアプリを紹介するなど工夫した授業を心がけています。そして、私自身も授業の中で生徒の発音をチェックしながらインドネシア語やジャワ語を学ばせてもらっています。

今後は文化紹介や授業の中で、「埼玉親善大使」として埼玉を紹介していきたいと思えます。



ポプクリ第1高等学校